

第6回目の松山分水に関する意見交換会を開催

松山分水問題について、第6回目の意見交換会が松山市役所で開かれました。

西条市は、松山市に対して新規水源開発量（4万8000立方メートル／日）の積算根拠について再度説明を求めたほか、道前平野地下水資源調査の概要説明を行いました。



【新規水源開発量について】

▲松山市の説明

松山市の需要量の将来予測について、地区内給水人口のピークは、平成27年度で51万8300人になると推計しており、同年における1人1日あたりの給水量を310リットル、1日最大給水量を18万8600立方メートルと見込んでいます。

基準渇水年（10年に一度の渇水年）は平成14年度としており、これに基づき、1日最大供給量は石手川ダム、地下水、北条地区を合わせて14万7000立方メートルとしています。1日最大給水量の18万8600立方メートルから1日最大供給量の14万7000立方メートルを差し引いた約4万8000立方メートルが、新規水源開発の必要量であると説明がありました。

▲西条市の意見

松山市の説明を聞いていると、平成6年の渇水の教訓を生かせないまま平成14年の渇

水に遭い、慌てて長期的水需給計画を策定したような印象があり、そのために周辺市町との協力体制がとれず、道後平野全体の水収支モデルが構築できていないように思われます。

さらに計画の策定を急いだため、コンサルタントまかせの調査になってしまい、その調査結果を活かしきれず、現在、新規水源の開発がストップしているというのが西条市の感想です。

そこで、新規水源開発の妥当性を検討する意味で、「松山市は渇水都市ではない」との持論を展開している篠原俊憲氏（技術士で松山市水資源対策検討委員会の元委員）に説明を依頼しました。

篠原氏は、松山市の給水人口がピークになると考えられる平成27年度に、1人1日平均給水量を310リットルとして、日量最大4万8000立方メートル

の新規水源が必要であるとしている松山市の計画に対し、「節水型都市づくり」の推進により、平成18年度の1人1日平均給水量の実績は301リットルになっているのに310リットルで計算をしている。また、現在の簡易水道区域などの水量も含まれているため、4万8000立方メートルは過大であり、実際は計画の半分以下の2万立方メートル程度で十分ではないかと指摘しました。

▲松山市の説明

松山市が行った調査については十分に科学的な論拠を持ったものであり、委託業者以外にも大学の教授にも評価をしていたいただいたもので、厚生労働省の認可に耐えうるものであると説明がありました。

【地下水資源調査について】

▲西条市の説明

西条市では平成8～11年度にかけて旧西条市における加茂川水系の調査を行っていますが、平成16年11月には2市2町が合併したことにより、道前平野全体の調査が必要となり、「まちづくり」の戦略として地下水資源調査を行っています。

○平成19～21年度の調査内容
①道前平野の数値モデルによる水収支解析②西条市の名

水の水質形成に関する地球化学的研究③西条市の地下水水質の季節的変化④地下水の実態を巻く諸環境と地下水の実態解析に関する基礎調査⑤地下水流動調査⑥地下水塩水化の調査など。

▲松山市から西条市への質問

前回と今回の調査の相違点と、調査期間が延長した理由はどこにありますか。

▲質問に対する西条市の回答

前回と今回の調査では範囲が違っており、前回は地質が中心でしたが、今回は水質が中心になっています。

期間延長については、地下水の涵養域について新たなテーマが見つかったということが起因しています。

また、第5回意見交換会で

愛媛県水資源対策課から、西条市が地下水管理の強化（揚水の抑制）をしなければ塩水化や地下水枯渇を防げないと指摘されたため、西条市では「地下水は公水である」という概念のもと、法整備を進めるべく、「地下水法システム研究会」立ち上げの準備に着

手したことなども、期間延長の理由に挙げられます。

【意見交換会について】

▲松山市の提案

河川管理者としての意見を聴くために、次回から愛媛県の水資源対策課に出席してもらってはどうか。

▲提案に対する西条市の回答

この会は3市それぞれの水事情の現状と課題を検討し、相互認識と理解を図るための会であり、愛媛県が入るということは分水協議の意味合いが強くなり、目的が違ってくるため、愛媛県の出席は断りいたします。

▲新居浜市の意見

この会の目的に沿った運営をしていただきたい。反対意見を述べるだけではなく、対案を示しあうような建設的な会にしていきたい。

●次回の意見交換会

次回は5月下旬に開催する予定です。傍聴については日程が決まり次第、市のホームページに掲載します。

●問合せ

水資源対策調査研究会（市庁舎別館環境課内）
TEL 0897152113 82